

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 16 年 7 月 30 日

上場会社名 株式会社タカキタ

（コード番号：6325 東証・名証第二部）

（URL <http://www.takakita-net.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 若山 東男

（TEL：0595 - 63 - 3111）

問合せ先責任者 役職名 取締役 大井 泰嗣

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 （内容）法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 たな卸資産の計上基準……実地たな卸しは行わず、帳簿たな卸しによっております。
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	3,143	13.5	165	-	167	-	74	-
16 年 3 月期第 1 四半期	3,636	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	11,990		297		288		134	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期第 1 四半期	4.68	-
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-
(参考)16 年 3 月期	7.77	-

（注）売上高以外の四半期経営成績の開示は当四半期から行っているため、前年同四半期については記載していません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期におけるわが国の経済は、雇用情勢には若干厳しさが残るものの、企業収益の改善や設備投資の増加、個人消費の持ち直しなど、総じて回復基調のうちに推移いたしました。

しかしながら農業機械業界におきましては、農業就業者の高齢化や農家戸数の減少、輸入農産物の増加などの問題により引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、農業機械部門においては、従来主力機種である牧草関連作業機・土作り関連作業機を中心に営業力の強化をテーマに掲げ、限られた市場の中でシェアアップを図るべく諸施策を実施しましたが、売上高は 14 億 37 百万円となりました。

一方、電器音響部門においては、得意先による部品の海外現地調達化が一段と進んでおり、売上高は 15 億 80 百万円となりました。

また、軸受部門においては、設備投資回復により受注が増加し、売上高は 1 億 26 百万円となりました。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 31 億 43 百万円となり、前期と比較して 13.5%の減収となりました。

一方、利益面においては、原材料のコストアップ要因はあるものの、ムダを排除したコスト低減に取り組んだ結果、営業利益 165 百万円、経常利益 167 百万円、四半期純利益 74 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	7,193	3,933	54.7	245.38
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	6,727	3,936	58.5	245.56

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	75	27	130	55
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	398	226	183	28

(注) 当四半期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して465百万円増加し、株主資本は2百万円減少しました。資産の増加は、季節的要因による売掛金及び受取手形の増加及び棚卸資産の増加によるものであります。

【キャッシュ・フローの状況】

営業活動によるキャッシュ・フローは75百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益167百万円、売上債権の増加額419百万円、たな卸資産の増加額40百万円、仕入債務の増加額59百万円を反映したものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは27百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出28百万円を反映したものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは130百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額151百万円を反映したものであります。

以上の結果、当第1四半期における現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ27百万円増加し、55百万円となりました。

添付資料 要約四半期貸借対照表、要約四半期損益計算書、要約四半期キャッシュ・フロー計算書

[参考] 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	6,250	280	125	7.82
通期	11,200	360	150	8.75

第1四半期の業績は概ね順調に推移しており、平成16年5月20日に公表しました業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

〔添付資料〕

1. 要約四半期貸借対照表

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)				%	
流動資産					
現金及び預金	265,699	-	-	-	238,222
受取手形	1,217,496	-	-	-	950,241
売掛金	1,235,242	-	-	-	1,111,382
たな卸資産	1,321,908	-	-	-	1,281,854
未収入金	351,297	-	-	-	336,765
その他	64,356	-	-	-	79,491
流動資産合計	4,456,001	-	-	-	3,997,958
固定資産					
建物	455,437	-	-	-	462,985
機械及び装置	348,749	-	-	-	353,352
土地	719,391	-	-	-	719,391
投資有価証券	566,627	-	-	-	546,185
その他	647,230	-	-	-	647,594
固定資産合計	2,737,436	-	-	-	2,729,509
資産合計	7,193,437	-	-	-	6,727,468
(負債の部)					
流動負債					
支払手形	684,707	-	-	-	578,386
買掛金	956,364	-	-	-	1,004,805
その他	770,310	-	-	-	348,112
流動負債合計	2,411,382	-	-	-	1,931,304
固定負債					
退職給付引当金	627,286	-	-	-	621,629
その他	221,040	-	-	-	237,969
固定負債合計	848,327	-	-	-	859,598
負債合計	3,259,709	-	-	-	2,790,902
(資本の部)					
資本合計	3,933,727	-	-	-	3,936,566
負債及び資本合計	7,193,437	-	-	-	6,727,468

(注) 当四半期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

2. 要約四半期損益計算書

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	3,143,679	-	-	%	11,990,903
売上原価	2,638,278	-	-	-	10,283,675
売上総利益	505,400	-	-	-	1,707,227
販売費及び一般 管理費	339,842	-	-	-	1,410,053
営業利益	165,557	-	-	-	297,174
営業外収益	10,469	-	-	-	27,797
営業外費用	8,827	-	-	-	36,886
経常利益	167,199	-	-	-	288,086
特別利益	-	-	-	-	2,673
特別損失	10	-	-	-	48,500
税引前四半期(当 期)純利益	167,189	-	-	-	242,259
税金費用	92,380	-	-	-	107,984
四半期(当期)純 利益	74,809	-	-	-	134,274

(注) 当四半期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

3. 要約四半期キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨)

	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	167,189	-	242,259
減価償却費	32,575	-	169,805
売上債権の増減額	419,814	-	236,211
たな卸資産の増減額	40,053	-	246,264
仕入債務の増減額	59,821	-	115,845
その他	129,750	-	163,312
小 計	70,530	-	615,383
法人税の支払額	12,426	-	221,128
その他	7,236	-	3,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,720	-	398,005
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	28,405	-	280,402
その他	624	-	53,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,781	-	226,676
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	151,000	-	12,000
長期借入金の返済による支出	20,000	-	93,000
その他	21	-	78,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,978	-	183,453
現金及び現金同等物の増減額	27,476	-	12,123
現金及び現金同等物の期首残高	28,222	-	40,346
現金及び現金同等物の期末残高	55,699	-	28,222

(注) 当四半期より四半期開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。